

科目コード	—	対象学科・ コース	福祉学科	配当学年	1年
要件	介護職員初任者研修科目				
授業科目名	介護基礎理論 I		担当形態	単独	
	英名 Basic theory of nursing care I		担当教員	小林武生 —	
開講期	前期	単位数	2単位	授業方法	講義

授業の概要	
<p>本授業では、介護を必要とする利用者を支援する上で理解する必要のある基本的事項（①介護職の職務内容、②利用者の尊厳の保持と自立支援の考え方、③介護による支援の法的根拠）について学修する。</p> <p>具体的な学修目標は以下の通りである。</p> <p>①介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのかについて理解する。</p> <p>②自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点について理解する。</p> <p>③介護職が支援をするうえで理解する必要のある法律を理解する。</p> <p>この授業を通して学生が身に付ける力は以下のとおりである。</p> <p>①介護を通じて支援するうえで自らの役割を考察できる力</p> <p>②利用者の尊厳を保持する方法やQOL向上する方法を考察できる力</p> <p>③介護保険制度や障害者総合支援制度を理解できる力</p>	
到達目標	
<p>①介護を通じて支援するうえで自らの役割を具体的に述べることができる。</p> <p>②利用者の尊厳を保持する方法やQOLが向上する方法を具体的に述べることができる。</p> <p>③介護保険制度や障害者総合支援制度を説明することができる。</p>	
対応するディプロマ・ポリシー	
DP3 社会を俯瞰し、多職種多業種との連携・協働を図り、多様化、複雑化する福祉課題の解決に貢献できる能力を有している	
教科書	
[第3版] 介護職員初任者研修テキスト 第1巻 介護のしごとの基礎 中央法規出版	
参考図書・参考資料	
別途資料を配布する	
履修上の注意	【先修条件科目】 特になし
	【持参物】 教科書
	【その他】 特になし

評価の基準・成績評価の方法
① 介護を通じて支援するうえで自らの役割 ② 利用者の尊厳を保持する方法や QOL 向上する方法 ③ 介護保険制度や障害者総合支援制度 上記の①～③に関する理解度を以下の方法で評価する。  評価の割合：筆記試験 60%、課題レポート 40%

担当教員からのメッセージ
<p>介護を必要とする人に対する支援に関わる社会の状況、支援の理念、制度施策、方法と実際について学ぶ科目です。社会状況について興味関心をもって授業を受けてください。</p> <p>授業に参加するにあたっては「授業の内容」を参照し、教科書の該当ページを通読しておくこと（予習 2 時間程度）、授業終了後には、授業で行った箇所の再読及び資料の再確認を行い、知識を定着させてください（復習 2 時間程度）。</p> <p>【オフィスアワー】 講義のある曜日</p>

授業計画			
回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション：授業の進め方 「介護とは」援助者の視点	講義	小林武生
2	介護が含まれる多様なサービスの理解	講義	小林武生
3	介護職の仕事内容や働く現場の理解	講義	小林武生
4	人権と尊厳を抱える介護①（人権と尊厳の保持、ICF、QOL、ノーマライゼーション）	講義	小林武生
5	人権と尊厳を支える介護②（虐待防止・身体拘束の禁止、個人の権利を守る制度）	講義	小林武生
6	自立に向けた介護①（自立支援）	講義	小林武生
7	自立に向けた介護②（介護予防）	講義	小林武生
8	介護を通じた自立とは 小テスト	講義	小林武生
9	介護保険制度①介護保険制度創設の背景及び目的、動向	講義	小林武生
10	介護保険制度②仕組みの基礎的理解	講義	小林武生
11	介護保険制度③制度を支える財源、組織、団体の機能と役割	講義	小林武生
12	障害福祉制度及びその他制度①障害福祉制度の理念	講義	小林武生
13	障害福祉制度及びその他制度②障害福祉制度のしくみの基礎的理解	講義	小林武生
14	障害福祉制度及びその他制度③個人の権利を守る制度の概要	講義	小林武生

15	自立支援における介護の位置づけ 介護基礎理論 I まとめ	講義	小林武生
----	---------------------------------	----	------

実務家教員担当科目に関する記載

社会福祉士としての実務経験を有する。

科目コード	—	対象学科・ コース	福祉学科	配当学年	1年
要件	介護職員初任者研修科目				
授業科目名	介護基礎理論Ⅱ		担当形態	単独	
	英名 Basic theory of nursing care Ⅱ		担当教員	北村光子 —	
開講期	後期	単位数	2単位	授業方法	講義

授業の概要	
<p>本授業では、介護を必要とする利用者を支援する上で必要となる利用者理解、支援の全体像の理解、利用者や支援者とのコミュニケーション技術に関わる内容（①老化の理解、②介護・福祉サービスの理解と医療との連携、③介護におけるコミュニケーション技術、）を学修する。</p> <p>具体的な学修目標は以下の通りである。</p> <p>①利用者の加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解する。</p> <p>②制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について理解する。</p> <p>③高齢者や障害者のコミュニケーション能力に応じたコミュニケーション技術や介護におけるチームのコミュニケーション技術の実際について理解する。</p>	
到達目標	
<p>①利用者の加齢・老化が生活にどのような影響があるかを説明できる</p> <p>②介護による支援の法的根拠と支援に関わる他の専門職の役割等を説明できる</p> <p>③利用者に対するコミュニケーションや多専門職とのコミュニケーションにおける留意点を説明できる</p>	
対応するディプロマ・ポリシー	
DP3 社会を俯瞰し、多職種多業種との連携・協働を図り、多様化、複雑化する福祉課題の解決に貢献できる能力を有している。	
教科書	
〔第3版〕介護職員初任者研修テキスト 第1巻 介護のしごとの基礎 中央法規出版	
参考図書・参考資料	
別途資料配布	
履修上の注意	【先修条件科目】 特になし
	【持参物】 テキスト、前回授業で配布した資料
	【その他】 特になし

評価の基準・成績評価の方法
①利用者の加齢・老化が生活にどのような影響があるかの理解 ②介護による支援の法的根拠と支援に関わる他の専門職の役割等の理解 ③利用者に対するコミュニケーションや多専門職とのコミュニケーションにおける留意点の理解 上記の①～③に関する理解度を以下の方法で評価する。 筆記試験 60%、授業への取り組み 15%、課題レポート 25%、

担当教員からのメッセージ
<p>対人援助職は、対象者の状況を理解すると共にコミュニケーション力もとても重要です。            この講義から少しでもそれが糧となるように一緒に学びましょう。</p> <p>また、授業に参加するにあたっては、次回の「授業の内容」を参照し、教科書該当ページを通読しておくこと(予習2時間程度)、授業終了後には、授業で行った箇所の再読及び提供資料等の重要箇所の再確認を行い、知識を定着させてください(復習2時間程度)。</p> <p>オフィスアワーは講義のある曜日です。</p>

授業計画			
回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション：授業の進め方 高齢者の日常生活について	講義	北村光子
2	老化に伴うこころとからだの変化と日常①老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴	講義	北村光子
3	老化に伴うこころとからだの変化と日常②老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響	講義	北村光子
4	高齢者と健康①高齢者の疾病と生活上の留意点	講義	北村光子
5	高齢者と健康②高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点	講義	北村光子
6	介護職の役割、専門性と多職種連携	講義	北村光子
7	介護職の職業倫理	講義	北村光子
8	介護における安全の確保とリスクマネジメント	講義	北村光子
9	介護職の安全	講義	北村光子
10	介護職の心得 介護基礎理論Ⅱ 中間まとめ	講義	北村光子
11	介護におけるコミュニケーション①介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割	講義	北村光子
12	介護におけるコミュニケーション②利用者・家族とのコミュニケーションの実際	講義	北村光子
13	介護におけるチームのコミュニケーション①記録における情報の共有化	講義	北村光子
14	介護におけるチームのコミュニケーション②コミュニケーションに関する環境	講義	北村光子

15	チームにおける介護職の役割の考察 介護基礎理論Ⅱまとめ	講義	北村光子
----	--------------------------------	----	------

実務家教員担当科目に関する記載			
介護福祉士やSW、ケアマネジャーや保育士としての実務経験を有する。			

科目コード	—	対象学科・ コース	福祉学科	配当学年	1年
要件	介護職員初任者研修指定科目				
授業科目名	こころとからだのしくみ		担当形態	オムニバス	
	英名 Mechanism of mind and body		担当教員	北村光子（科目担当責任者） 光武きよみ、原田昌範	
開講期	後期	単位数	2単位	授業方法	講義

授業の概要					
<p>本授業では、介護を必要とする利用者を支援する際に必要となる知識と技術（①介護の基本的な考え方、②認知症の理解、③障害の理解、④医療との連携とリハビリテーション、⑤死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護）について学修する。 具体的な学修内容は以下の通りである。</p> <p>①介護の基本的な考え方と、介護に関するこころのしくみとからだのしくみ  ②認知症の理解と、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則  ③障害の概念とICF、障害福祉の基本的な考え方  ④医療職と介護職の連携における留意点  ⑤終末期介護における留意点</p>					
到達目標					
<p>① 介護技術の根拠となる知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を説明することができる。  ② 認知症が利用者の生活にどのような影響があるかを具体的に説明することができる。  ③ 障害が利用者の生活にどのような影響があるのかを具体的に説明することができる。  ④ 介護の場面における医療職との連携の留意点を説明することができる。  ⑤ 終末期介護における留意点を説明することができる。</p>					
対応するディプロマ・ポリシー					
DP3 社会を俯瞰し、多職種多業種との連携・協働を計り、多様化、複雑化する福祉課題の解決に貢献できる能力を有している					
教科書					
最初の講義で紹介する					
参考図書・参考資料					
適宜指示する					
履修上の注意	【先修条件科目】 特になし				
	【持参物】 教科書、筆記用具				
	【その他】 特になし				

評価の基準・成績評価の方法	
1	介護技術の根拠となる知識と、安全な介護サービスの提供方法
2	認知症が利用者の生活にどのような影響があるかについて
3	障害が利用者の生活にどのような影響があるのかについて
4	介護の場面における医療職との連携の留意点
5	終末期介護における留意点
上記1～5に関する理解度を以下の方法で評価する。 筆記試験 60%、課題レポート 40%	

担当教員からのメッセージ	
受講にあたっては、各回の授業計画に該当する教科書を熟読しておくことを予習とします（2時間程度）。また、授業内容を振り返り、演習課題に再度取り組むなど、授業内容の定着を図るように努めることを復習とします（2時間程度）。	
オフィスアワー：講義のある曜日	

授業計画			
回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション：授業の進め方	講義	北村光子
2	介護の基本的な考え方	講義	北村光子
3	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	講義	北村光子
4	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	講義	北村光子
5	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	講義	北村光子
6	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	講義	北村光子
7	認知症患者の家族への支援	講義	北村光子
8	認知症の理解のまとめ	講義	北村光子
9	障害の基礎的理解、ICFについて、障害の医学的側面、生活障害の基礎的知識	講義	北村光子
10	障害者の家族の心理、かかわり支援の理解	講義	北村光子
11	医療との連携とリハビリテーション① 医行為と介護、訪問看護、施設における看護と介護の役割・連携	講義	光武きよみ
12	医療との連携とリハビリテーション② リハビリテーションの理念	講義	光武きよみ
13	死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護① 終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ、生から死への過程	講義	原田昌範
14	死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護② 「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援	講義	原田昌範

15	こころとからだのしくみ、まとめ	講義	北村光子
----	-----------------	----	------

実務家教員担当科目に関する記載

- ・介護福祉士やSW、ケアマネジャーや保育士としての実務経験を有する。（北村光子）
- ・看護師としての実務経験を有する。（光武きよみ）
- ・医師としての実務経験を有する。（原田昌範）

科目コード	—	対象学科・ コース	福祉学科	配当学年	1年
要件	介護職員初任者研修科目				
授業科目名	介護演習 I		担当形態	単独	
	英名 nursing practice I		担当教員	北村光子 —	
開講期	後期	単位数	2単位	授業方法	演習/講義

授業の概要	
<p>本科目は介護職に求められる生活支援技術を学ぶ科目である。 授業内容について以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と家事：家事援助（掃除・洗濯・料理）と介護の関係</li> <li>・快適な居住環境整備と介護</li> <li>・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> </ul> <p>授業を通して学生たちは支援対象者の生活場面に対応した介護に関する基礎的知識や生活支援技術の修得を目指す。</p>	
到達目標	
<p>①介護に必要な家事援助の実践について説明できる ②高齢者をはじめ介護サービスを必要な利用者の環境整備の実施について説明できる ③介護における整容の意味と支援方法について説明できる ④介護における移動・移乗の意味と支援方法について説明できる</p>	
対応するディプロマ・ポリシー	
DP3 社会を俯瞰し、多職種多業種との連携・協働を図り、多様化、複雑化する福祉課題の解決に貢献できる能力を有している。	
教科書	
<p>[第2版] 自立に向けた介護の実際 介護職員初任者研修テキスト第2巻 中央法規</p>	
参考図書・参考資料	
別途、資料配布	
履修上の注意	【先修条件科目】 特になし
	【持参物】 教科書。演習では、動きやすい服装でお願いします。
	【その他】 特になし

評価の基準・成績評価の方法
①介護に必要な家事援助の実践 ②高齢者をはじめ介護サービスを必要な利用者の環境整備の実践 ③介護における整容の意味と支援方法の理解 ④介護における移動・移乗の意味と支援方法の理解 上記の①～④に関する理解度を以下の方法で評価する。 実技試験 60%、課題レポート 25%、講義への取り組み 15%

担当教員からのメッセージ
少しでも対象者の状況を演習などで学びSWに活かして下さい。 また、授業に参加するにあたっては、次回の「授業の内容」を参照し、教科書該当ページを通読しておくこと(予習2時間程度)、授業終了後には、授業で行った箇所の再読及び提供資料等の重要箇所の再確認を行い、知識を定着させてください(復習2時間程度)。 オフィスアワーは講義のある曜日です。

授業計画			
回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション：授業の進め方 家事援助の意味	講義	北村光子
2	介護における家事援助（掃除）：講義・演習	講義・演習	北村光子
3	介護における家事援助（掃除）：演習	演習	北村光子
4	介護における家事援助（洗濯）：講義・演習	講義・演習	北村光子
5	介護における家事援助（洗濯）：演習	演習	北村光子
6	介護における家事援助（料理）：講義・演習	講義・演習	北村光子
7	介護における家事援助（料理）：演習	演習	北村光子
8	福祉サービス利用者にとっての住環境整備とは	講義	北村光子
9	福祉サービス利用者にとっての住環境整備とは：演習	演習	北村光子
10	整容に関連した福祉サービス利用者にとってのこころとからだのしくみ	講義	北村光子
11	福祉サービス利用者にとっての整容とは：演習	演習	北村光子
12	移動・移乗に関連した福祉サービス利用者にとってのこころとからだのしくみ	講義	北村光子
13	福祉サービス利用者にとっての移動・移乗とは（屋内）：演習	演習	北村光子
14	福祉サービス利用者にとっての移動・移乗とは（屋外）：演習	演習	北村光子
15	福祉サービス利用者を支える介護の社会的意味 介護演習Ⅰまとめ	講義	北村光子

実務家教員担当科目に関する記載

介護福祉士やSW、ケアマネジャーや保育士としての実務経験を有する。

科目コード	—	対象学科・ コース	福祉学科	配当学年	2年
要件	介護職員初任者研修科目				
授業科目名	介護演習Ⅱ		担当形態	単独	
	英名 nursing practice Ⅱ		担当教員	北村光子 —	
開講期	前期	単位数	2単位	授業方法	演習/講義

授業の概要	
<p>本科目は介護職に求められる生活支援技術を学ぶ科目である。 授業内容について以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> </ul> <p>授業を通して学生たちは支援対象者の生活場面に対応した介護に関する基礎的知識や生活支援技術の修得を目指す。</p>	
到達目標	
<p>①福祉サービス利用者の特性に配慮した食事介助の実践について説明することができる。 ②福祉サービス利用者の特性に配慮した入浴介助等の実践について説明することができる。 ③福祉サービス利用者の特性に配慮した排泄介助等の実践について説明することができる。 ④生活の中での睡眠に焦点をあてた介護の実践について説明することができる。</p>	
対応するディプロマ・ポリシー	
DP3 社会を俯瞰し、多職種多業種との連携・協働を図り、多様化、複雑化する福祉課題の解決に貢献できる能力を有している。	
教科書	
<p>[第2版] 自立に向けた介護の実際 介護職員初任者研修テキスト第2巻 中央法規</p>	
参考図書・参考資料	
別途、配布	
履修上の注意	【先修条件科目】 特になし
	【持参物】 教科書。演習では、動きやすい服装でおねがいします。
	【その他】 特になし

評価の基準・成績評価の方法
①福祉サービス利用者の特性に配慮した食事介助の実践 ②福祉サービス利用者の特性に配慮した入浴介助等の実践 ③福祉サービス利用者の特性に配慮した排泄介助等の実践 ④生活の中での睡眠に焦点をあてた介護の実践 上記の①～④に関する理解度を以下の方法で評価する。 実技試験 60%、課題レポート 25%、授業への取り組み 15%

担当教員からのメッセージ
少しでも対象者の状況を演習などで学びSWに活かして下さい。 また、授業に参加するにあたっては、次回の「授業の内容」を参照し、教科書該当ページを通読しておくこと(予習2時間程度)、授業終了後には、授業で行った箇所の再読及び提供資料等の重要箇所の再確認を行い、知識を定着させてください(復習2時間程度)。 オフィスアワーは講義のある曜日です。

授業計画			
回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション：授業の進め方 福祉サービス利用者にとっての食事の意味	講義	北村光子
2	食事に関連した福祉サービス利用者のこころとからだのしくみ	講義	北村光子
3	福祉サービス利用者の特性に応じた食事介助とは：演習	演習	北村光子
4	福祉サービス利用者の特性に応じた食事介助：演習	演習	北村光子
5	入浴・清潔保持に関連した福祉サービス利用者のこころとからだのしくみ	講義	北村光子
6	福祉サービス利用者の特性に応じた入浴介助等とは：演習	演習	北村光子
7	福祉サービス利用者の特性に応じた入浴介助等：演習	演習	北村光子
8	排泄に関連した福祉サービス利用者のこころとからだのしくみ	講義	北村光子
9	福祉サービス利用者の特性に応じた排泄介助とは：演習	演習	北村光子
10	福祉サービス利用者の特性に応じた排泄介助：演習	演習	北村光子
11	中間実技試験	演習	北村光子
12	中間実技試験	演習	北村光子
13	福祉サービス利用者にとっての睡眠	講義	北村光子
14	福祉サービス利用者にとっての睡眠環境の整備：演習	演習	北村光子
15	福祉サービス利用者にとっての生活環境整備の意味 介護演習Ⅱまとめ	講義	北村光子

実務家教員担当科目に関する記載

介護福祉士やSW、ケアマネジャーや保育士としての実務経験を有する。

科目コード	—	対象学科・ コース	福祉学科	配当学年	2年
要件	介護職員初任者研修科目				
授業科目名	介護演習Ⅲ		担当形態	単独	
	英名 nursing practice Ⅲ		担当教員	北村光子 —	
開講期	後期	単位数	2単位	授業方法	演習/講義

授業の概要	
<p>本科目は介護職に求められる生活支援技術や介護過程の展開について学ぶ科目である。最後に事例に基づく総合的な演習を行い、介護演習全体の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の基礎的理解</li> <li>・総合生活支援技術演習</li> <li>・介護演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの振り返り</li> </ul> <p>授業を通して支援対象者の生活場面に応じた生活支援サービス提供のための介護過程に関する知識と生活支援技術について修得する。</p>	
到達目標	
<p>①介護過程の目的・意義・展開を理解できる。</p> <p>②事例から利用者の状態を想定し、利用者の心身の状況に合わせた介護を検討できる。</p>	
対応するディプロマ・ポリシー	
DP3 社会を俯瞰し、多職種多業種との連携・協働を図り、多様化、複雑化する福祉課題の解決に貢献できる能力を有している。	
教科書	
<p>〔第2版〕自立に向けた介護の実際  介護職員初任者研修テキスト第2巻 中央法規</p>	
参考図書・参考資料	
別途、資料配布	
履修上の注意	【先修条件科目】 特になし
	【持参物】 授業で配布した資料
	【その他】 特になし

評価の基準・成績評価の方法	
<p>①介護過程の目的・意義・展開の理解</p> <p>②事例から利用者の状態を想定し、利用者の心身の状況に合わせた介護の計画立案</p> <p>上記の①～②に関する理解度を以下の方法で評価する。</p> <p>筆記試験 50%、課題レポート 35%、授業への取り組み 15%</p>	

担当教員からのメッセージ

事例を基に、ICFに基づいた介護過程の展開を学んでください。

また、授業に参加するにあたっては、次回の「授業の内容」を参照し、教科書該当ページを通読しておくこと(予習2時間程度)、授業終了後には、授業で行った箇所の再読及び提供資料等の重要箇所の再確認を行い、知識を定着させてください(復習2時間程度)。

オフィスアワーは講義のある曜日です。

回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション：授業の進め方 介護過程の実例紹介	講義	北村光子
2	介護過程の目的・意義・展開	講義	北村光子
3	介護過程とチームアプローチ	講義・演習	北村光子
4	事例検討①「在宅で生活する高齢者」	演習	北村光子
5	事例①のアセスメント発表	演習	北村光子
6	事例検討②「施設で生活する高齢者」	演習	北村光子
7	事例②の計画立案	講義・演習	北村光子
8	事例検討③「ターミナル期にある高齢者」	演習	北村光子
9	事例③の計画立案ーチームアプローチを踏まえて	演習	北村光子
10	事例①～③の発表	演習	北村光子
11	介護技術の習得度合いの評価	演習	北村光子
12	研修の振り返り	講義	北村光子
13	根拠に基づく介護についての要点	講義	北村光子
14	継続的な研修の必要性について	講義	北村光子
15	福祉サービス利用者にとっての介護職の存在を考える 介護演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ全体のまとめ	講義	北村光子

実務家教員担当科目に関する記載

介護福祉士やSW、ケアマネジャーや保育士としての実務経験を有する。

科目コード	—	対象学科・ コース	福祉学科	配当学年	2年
要件	—				
授業科目名	福祉的ターミナルケア		担当形態	単独	
	英名 welfare terminal care		担当教員	北村光子	
開講期	前期	単位数	2単位	授業方法	講義

授業の概要	
<p>本科目は、社会福祉士をはじめとする対人援助専門職、そして関係者がターミナルケアにおいてどのような役割を担い、どのような支援を行うのかについて学修する科目である。</p> <p>具体的な学習内容は次のとおりである。</p> <p>① ターミナルケアを実践する上での価値観・倫理観</p> <p>② ターミナルケアにおける支援の留意点</p>	
到達目標	
<p>①ターミナルケアを実践する上での価値観・倫理観を説明できる</p> <p>②ターミナルケアにおける支援体制について説明できる</p> <p>③ターミナルケアにおける支援を説明できる</p>	
対応するディプロマ・ポリシー	
DP3 社会を俯瞰し、多職種多業種との連携・協働を図り、多様化、複雑化する福祉課題の解決に貢献できる能力を有している。	
教科書	
別途、資料配布	
参考図書・参考資料	
<p>絵でみるターミナルケア[改訂版]: 人生の最期を豊かに生き抜く人へのかぎりない援助 学研メディカル秀潤社; 改訂版 (2015/6/30)</p> <p>はじめて学ぶグリーフケア 第2版 日本看護協会出版会; 第2版 (2022/6/30)</p>	
履修上の注意	【先修条件科目】 特になし
	【持参物】 前回、授業で配布した資料
	【その他】 特になし

評価の基準・成績評価の方法	
<p>①ターミナルケアを実践する上での価値観・倫理観を説明できる</p> <p>②ターミナルケアにおける支援体制を説明できる</p> <p>③ターミナルケアにおける支援を説明できる</p> <p>上記の①～③の理解度を次の方法で評価する。</p> <p>筆記試験 50%、課題レポート 35%、授業への取り組み 15%</p>	

担当教員からのメッセージ

誰でも経験する「死」。当事者、家族など取り巻く環境は、人さまざまです。対人援助職においてどのような配慮が必要なのか共に考えていきましょう。

【事前・事後学習について】

シラバスで示している授業回のテーマについて社会的な状況を調べ（事前学習 2 時間）、授業で用いた教材等をもとに振り返りを行うこと（事後学習 2 時間）。

オフィスアワーは、講義のある曜日です。

授業計画

回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション：授業の進め方 ターミナルとは、ターミナルケアとは	講義	北村光子
2	現代における死の様相	講義	北村光子
3	死に関する諸理論	講義	北村光子
4	ターミナルケアにおける理念、倫理観について	講義	北村光子
5	現代におけるターミナルケア	講義	北村光子
6	死に対するこころの理解	講義	北村光子
7	終末期から危篤状態、死後のからだの理解	講義	北村光子
8	終末期における医療職との連携	講義	北村光子
9	高齢者福祉施設におけるターミナルケア①ターミナルケアの実際	講義	北村光子
10	高齢者福祉施設におけるターミナルケア②ターミナルケアに関わる専門職	講義	北村光子
11	高齢者福祉施設におけるターミナルケア③支援計画の立案	講義	北村光子
12	在宅におけるターミナルケア①ターミナルケアの実際	講義	北村光子
13	在宅におけるターミナルケア②ターミナルケアに関わる専門職・関係者	講義	北村光子
14	在宅におけるターミナルケア③支援計画の立案	講義	北村光子
15	ターミナルケアと福祉の関係 福祉的ターミナルケアまとめ	講義	北村光子

実務家教員担当科目に関する記載

介護福祉士や SW、ケアマネジャーや保育士としての実務経験を有する。